

日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2019決定。



及び 特別賞受賞品種のご紹介 切花部門 / 鉢物部門 / ガーデニング部門

■ 「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション (JFS)とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。

国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。

各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）や、ベスト・フラワー（優秀賞）、各種特別賞を選定しています。

フラワー・オブ・ザ・イヤー <i>Flower of the Year</i>	モーストジョイ 特別賞	ニューバリュー 特別賞	グッドパフォーマンス 特別賞	カラークリエイト 特別賞	ニュースタイル 特別賞
ベスト・フラワー <i>Best Flower</i>	フレグランス 特別賞	ジャパンデザイン 特別賞	ライフデザイン 特別賞	ブリーディング 特別賞	モニター 特別賞



いい花の新基準。

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743

メール : jfpc@jfpc.or.jp

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション2019-2020 審査会の開催状況

■切花部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2019年4月18日（木） 会場：パシフィコ横浜 ホールB	40品種
秋審査会	審査日：2019年11月4日（月・祝） 会場：（株）大田花き	9品種
切花部門 合計		49品種

審査会の様子



鉢物部門春審査会の様子

■鉢物部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2019年4月18日（木） 会場：パシフィコ横浜 ホールB	46品種
秋審査会	審査日：2019年11月18日（月） 会場：（株）フラワーオークションジャパン	12品種
鉢物部門 合計		58品種



切花部門秋審査会の様子

■ガーデニング部門

審査会名	審査日 (会場：千葉大学環境健康フィールド科学センター)	審査対象品種
春審査会	審査日：2019年5月14日（火）	7品種
夏秋審査会	審査日：（第1回）2019年6月18日（火） （第2回）2019年7月30日（火） （第3回）2019年9月10日（火）	23品種
秋審査会	審査日：2019年10月29日（火）	3品種
ガーデニング部門 合計		33品種



ガーデニング部門屋根付き施設内の様子



ガーデニング部門露地花壇の様子

審査会のほかに関東東海花の展覧会での受賞品種PR展示やお台場おもてなし花壇などでも 多くの方にJFSの受賞品種をご紹介します。



関東東海花の展覧会でのPR活動



JFSお台場おもてなしガーデン(夏)



JFSお台場おもてなしガーデン(ガーデンツアー)

御協力いただいた審査員の先生方

部 門	審 査 員 名
切花部門 (横浜・東京 会場)	<p> 穴戸 純 (株)大田花き 営業本部 (部門長) 卯木 則宏*春 (株)フラワーオークションジャパン 切花部 開発課 課長代理 石黒 康二*秋 (株)フラワーオークションジャパン 切花部 営業9課 課長代理 大根 秀夫 (株)千政 代表取締役 小泉 吉寿 (株)白楽花園 チーフデザイナー 細谷 宗令 元千葉県農林総合研究センター 増田 篤*春 (株)日比谷花壇 東日本バンケット事業部 </p>
鉢物部門 (横浜・東京 会場)	<p> 長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン 取締役 (部門長) 岡部 幸一 (株)大田花き 営業本部 第二グループ グループリーダー 尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役 香取 邦枝*春 第一園芸(株) 商品販売事業本部 店舗事業部 部長 小池 安比古 東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科 教授 向原 潤 (株)ディノス・セシールフラワーネット本部 フラワーネット事業部 EC/事業推進ユニット チーフ </p>
ガーデニング 部門(千葉大学 柏の葉キャンパ ス)	<p> 山本 岳史 豊明花き(株) 企画本部外商部次長 (部門長) 尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役 杉井 志織 はなぐみ 代表 村上 智弘 (株)フラワーオークションジャパン 鉢物部 部長 山口 まり 日本ハンギングバスケット協会 理事 渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 教授 </p>
中央審査委員会	<p> 中央審査委員長 安藤 敏夫 切花部門長 穴戸 純 鉢物部門長 長岡 求 ガーデニング部門長 山本 岳史 </p>

ジャパンフラワーセレクション2020-2021の審査会開催予定

切花・鉢物部門

■春審査会(パシフィコ横浜)

開催日 : 2020年4月23日(木)

*募集締切: 2020年4月14日(月)

■秋審査会(大田市場での開催を予定)

開催日 : 2020年10月~11月頃

*募集締切: 開催日の約1週間前

日程が決まり次第JFSのHPに発表します。

ガーデニング部門(千葉大学環境健康フィールド科学センター)

■春審査会

募集締切: 2020年1月末

植栽開始: 2月~3月頃(適期をご相談ください)

審査 : 4月~5月頃

■夏審査会

募集(一次)締切: 2020年1月末

植栽開始: 3月~5月頃(適期をご相談ください)

審査 : 期間中3回程度(5月、7月、9月頃を予定)

切花部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2019

有限会社たなまち園芸場 バラ「レッドワイン&ローズ」



品目名 : バラ
 品種名 : レッドワイン&ローズ
 受賞者 : 有限会社たなまち園芸場（福岡県）
 育成者 : 棚町 満
 審査講評 : 人気のロゼット咲き大きめ中輪のスプレータイプバラ。明るい深みのある上品な赤色。スプレータイプで茎に適度なしなりがあり、またトゲが少ないので、ブーケに使いやすい。豪華な印象だが重すぎることがなく、エレガントな雰囲気にも合わせたアレンジができる。花の日持ちが短くなりがちなのでこのタイプの花型の中では、散りにくく長く楽しめる。春の来場者の人気投票では、第5位に入賞。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

LED照明の下できれいに見える、クラシカルな赤バラを目指しました。

所有のカップ咲きの赤バラを自家交配し、2～3年選抜を繰り返して作った品種です。日平均気温を大きく変化させないように管理する平均温度管理の考えを取り入れ、きれいな放射状のロゼット咲きを作りました。

赤ワインに似合う真っ赤なバラをイメージして、「レッドワイン&ローズ」と名付けました。

【開発の面白さ・今後の展開など】

育種は、期待通りの品種がなかなか発現しないときもありますが、「必ず良い品種がでるだろう」と思って交配を続けています。期待して育種をすることで、自然と植物は変化してくれるようです。育種は長い年月がかかりますが、選抜したり、交配の方法を変えたり試行錯誤しながら、前向きに育種を行っています。今後も、仕事で関わる方、花屋さんや消費者の意見や考え方に触れ、満足して使っていただけるバラを作っていきます。

切花部門 秋 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞）

[カラークリエイト/ニュースタイル/

モニター特別賞（人気投票第1位 秋）同時受賞]

ダリア「NAMAHAJE MASARU」秋田県



受賞者：秋田県
 育成者：鷲澤 幸治
 育成者権者：秋田県
 審査講評：オレンジと白のユニークな複色のダリア。



ウェーブがかった花卉の動きも面白く、非常に表情豊か。存在感たっぷりで、華やかな大型の装飾などに向く。花首が上向きでキープできれば、さらに良いという意見があった。

ベスト・フラワー（優秀賞）、カラークリエイト特別賞、ニュースタイル特別賞の3賞を同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

・今までにないオレンジと白の複色品種の開発を目指した。

【開発の面白さ・今後の展開など】

- ・よい品種同士を人工交配しても、優れた子孫を残すとは限らず、狙いどおりに行かないところが難しい。
- ・逆に、虫媒等の自然に任せた交配で優れた特性の子孫を残す場合があり、偶然性の面白さがある。
- ・NAMAHAJEダリアのさらなる拡充を目指す。

ベスト・フラワー（優秀賞）

[モーストジョイ/グッドパフォーマンス特別賞同時受賞]

ダリア「大曲の花火ダリア 橙炎」大仙市



受賞者：大仙市（秋田県）
 ホームページ：<http://www.city.daisen.akita.jp/>
 育成者：鷲澤 幸治
 育成者権者：大仙市
 審査講評：



濁りのない濃いオレンジ色が非常に印象的なセミカクタス咲き。「橙炎」というネーミングにもあっている。

ダリア特有のデリケートな扱いを忘れるほどしっかりとした花卉と花茎。上向きでジャストサイズの中輪もよい。

ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞、グッドパフォーマンス特別賞のトリプル受賞。秋の人気投票第3位。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】 秋田県大仙市では、毎年8月最終土曜日に日本一の花火師を決める「全国花火競技大会 大曲の花火」が開催されます。当市ではダリアの栽培が盛んであることから、花火をイメージするダリアの新品種を開発し「大曲の花火ダリア」としてシリーズ化に向けて取り組んでいます。

【開発の面白さ・今後の展開など】 色と花卉の揺らめきから「大曲の花火協同組合」により名付けられた「橙炎」は上向きで花卉が厚く、オレンジ色の同系ダリアが入替わる可能性がある程の優れた特性を持つ品種です。「花火の町」が「花の町」になるよう、生産者と共に市をあげて増産に取り組めます。

ライフデザイン特別賞

アルストロメリア「シルエット」 有限会社三宅花卉園



受賞者：有限会社三宅花卉園
(千葉県)

ホームページ：http://www.miyake-nursery.com/

育成者：三宅 勇

審査講評：

淡い黄色の弁先に入ったオレンジ色、バランスの良い花型と茎や葉に気品を感じるアルストロメリア。やや黒軸の茎は細いが硬く、使い勝手が良い。花と草姿の良さを想像させてくれるようなネーミングである。

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフデザイン特別賞を受賞。

フレグランス特別賞

キンギョソウ「ペンステモンダブルピンク SK6-16」 株式会社 サカタのタネ



受賞者：株式会社 サカタのタネ (神奈川県)

ホームページ：http://www.sakataseed.co.jp/

育成者：西田 功一

審査講評：ボリューム感があり、かつ花形の美しい八重咲きの品種。八重の魅力を一層伝える澄んだピンク色が美しい。フリルが整った花型で、かつ香りも強い。全体的にキンギョソウという品目の価値を高めている。芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されるフレグランス特別賞を受賞。人気投票第8位。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】これまでになかった、中早生系のダブルペンステモン咲きのキンギョソウです。花形が安定して、高温期でも崩れにくいことが特徴です。

やわらかなピンク色が、花形のよさと相まって、さまざまなシーンで使い勝手のよい切り花が得られます。

【開発の面白さ・今後の展開など】これまで出荷ができなかった時期に向け、新しいカテゴリーの花を開発することは、人々に新たな花の魅力を伝えることができます。

今後は、さらに色幅を広げ、さらに魅力を広げたいと考えます。

フレグランス特別賞

キンギョソウ「ペンステモンダブルホワイト SK6-44」株式会社 サカタのタネ



受賞者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
ホームページ : <http://www.sakataseed.co.jp/>
育成者 : 西田 功一
審査講評 : ポリューム感があり、かつ花形の美しい八重咲きの品種。フリルが整った花型の美しさが映える白色で、かつ香りも強い。全体的にキンギョソウという品目の価値を高めている。
芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されるフレグランス特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】これまでになかった、中早生系のダブルペンステモン咲きのキンギョソウです。花形が安定して、高温期でも崩れにくいことが特徴です。使用のシーンが多い、白色の品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】これまで出荷ができなかった時期に向け、新しいカテゴリーの花を開発することは、人々に新たな花の魅力を伝えることができます。今後は、さらに色幅を広げ、さらに魅力を広げたいと考えます。

カラークリエイト特別賞

キク「ヴィップ」 株式会社デリフロールジャパン



受賞者 : 株式会社デリフロールジャパン (静岡県)
ホームページ : <https://www.deliflor.co.jp/>

育成者 : Arie Gerard Post

育成者権者 : Deliflor Royalties B.V.

審査講評 : 淡いピンクにややランダムに入った刷毛目ともストライプともとれる模様が目を惹く。和風にも洋風にも使える。ボリュームもあり、花径もほど良いスプレー咲きで、万能スプレーマムと言える。一輪仕立てでも欲しい花色。



人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種としてカラークリエイト特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】キクの表現力を最大限に引き出したい、そう考えながら花づくりをするなか、美しい斑入りの花卉をもつ、この花と巡り合うことができました。グラデーションと花卉の紫のラインが独特で、さまざまなアレンジを楽しめる、とても魅力的な花です。

【開発の面白さ・今後の展開など】人の目を惹きつける花を創り出すことは、品種を開発する者、そして、それを生産する者にとっての幸せです。しかし、特徴のある花を創り出すのは、簡単なことではありません。ヴィップは突然変異から生まれました。その偶然を見つけ出せたことは、私たちにとって本当に幸運だったと言えるでしょう。

グッドパフォーマンス特別賞

キク「シャボン」 株式会社デリフロールジャパン



受賞者：株式会社デリフロールジャパン（静岡県）

ホームページ： <https://www.deliflor.co.jp/>

育成者：Arie Gerard Post

育成者権者：Deliflor Royalties B. V.

審査講評： シャボン玉のように丸いポンポンタイプのキク。中心部に淡いグリーンが入るピンク色は、見た目のかわいらしさに反し、がっしりと硬い花卉。和風はもちろんのこと、洋風のアレンジメントにも親和性が高いだろう。



生産者にとっても消費者にとっても扱い易い品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】ポンポン系の花のなかにあつて、コロツとした丸い花形と、パステル系の花色がとても可愛らしく、試験当初から商品化が期待されていた品種です。花色から一見華奢な印象ながら、意外にも花卉は硬く締まっていて、傷みにくい点も、ほかの品種にはない強みです。

【開発の面白さ・今後の展開など】一輪仕立て向きの品種として販売が始まった花ですが、最近では多輪仕立ての評価も高まっています。丸みある形や、花色のグラデーションは、一見主張しなそうで、ポンポン系の花のなかでは個性の強い品種です。優れた生産性はそのままに、今後は新たな花色を展開していきたいと考えています。

カラークリエイト特別賞

キク「セレンティサーモン」 株式会社デリフロールジャパン



受賞者：株式会社デリフロールジャパン（静岡県）

ホームページ： <https://www.deliflor.co.jp/>

育成者：Arie Gerard Post

育成者権者：Deliflor Royalties B. V.

審査講評： サーモンカラーに赤色の緋縞模様が入った、シックなスプレーマム。いわゆるアネモネ咲き。



時期でニーズが異なるかもしれないが、特に秋の装飾には便利。使い方で印象が変わり、花合わせが楽しくなるような品種でカラークリエイト特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】この花の一番の強みは、“夏に強い品種”であることです。もともとキクは秋から庭を彩る花なので、夏に強い品種づくりは大きな課題です。年々夏の猛暑が厳しさを増すなかで、生長も早く、伸びも良く、花色も褪せにくいといった、作る側にとってのメリットも大きい花です。

【開発の面白さ・今後の展開など】花卉に不規則なラインが入るこの花は、女性からの人気も高く、アレンジメントのアクセントとして需要は高まっています。白い花びらに濃淡織り交ざった赤いラインが混在し、一見セピアがかった色味が、独特の印象を醸しています。一輪仕立てにすると、また違った個性が現れるので、様々なアレンジが楽しめます。

ニュースタイル特別賞

キク「ヘッジホッグ」 株式会社デリフローラジャパン



受賞者 : 株式会社デリフローラジャパン (静岡県)
ホームページ : <https://www.deliflor.co.jp/>
育成者 : Arie Gerard Post
育成者権者 : Deliflor Royalties B.V.
審査講評 : ピンク地に弁先のイエローのカラーリングが、スパイダー咲きの花卉のシャープさとマッチした品種。1本でも見ごたえがある。スパイダー咲きのスプレーは、ポップにもシャープにも演出可能。他の花色展開も期待される。斬新で優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】夏の暑さに耐え得る強い品種であるとともに、寒い季節にも安定して栽培が可能な品種です。また、花の伸びも早いという、作る側のメリットもあるのが強みです。同時に、色や形も特徴的で、ずっと伸びた糸状の花弁が美しい花です。

【開発の面白さ・今後の展開など】パツと咲いた花火のような糸状の花弁が繊細でありながらも、その色合いから大胆な印象も与える花です。一輪仕立てを華やかにあしらうのもいいですが、多輪仕立てにして気品あるアレンジの添えとして使うのも楽しいものです。今後はさらなるカラーバリエーションの展開に向けて、期待が高まっています。

グッドパフォーマンス特別賞

カーネーション「シャララ ピコ」 株式会社ミヨシ



受賞者 : 株式会社ミヨシ (山梨県)
ホームページ : <http://www.miyosi.co.jp/>
育成者 : ヒルベルダコーイ社
育成者権者 : 株式会社ミヨシ
審査講評 : 白地にほんのりチークブラシを刷いたようなピンク色がのったフリンジ咲き。可愛い花形と色味がマッチしている。中心から滲むように入ったピンク色によって、花形がより立体的に見えフォトジェニック。一輪一輪微妙に違ったグラデーションが生じることも魅力として感じられる。グッドパフォーマンス特別賞受賞。来場者人気投票では切花部門第3位入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】カーネーションでは珍しいフリンジ咲き、ラベンダー色の人気品種「シャララ」からの突然変異品種として2014年に発見されました。

時期や個体差により花色の変化がありますが、それらを品種の魅力として捉えて頂ければ幸いです。

カラークリエイト/モニター特別賞（人気投票第1位 春）

トルコギキョウ「ボン・ボヤージュ®（2型）ベビーピンク」株式会社サカタのタネ



受賞者：株式会社 サカタのタネ（神奈川県）
ホームページ：<http://www.sakataseed.co.jp/>
育成者：森 一俊
審査講評：大輪フリンジ咲きのボン・ボヤージュ®シリーズ。白色の中心部にチークのようなパウダー



ピンクが入ったデリケートな色味の新品。ボリュームがあり見事だが、キュートな印象は小ぶりタイプでも使い易いかもしれない。
来場者人気投票では切花部門で第1位を獲得。花の色の流行を先取りした品種としてカラークリエイト特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】「ボン・ボヤージュ」シリーズはその花形のよさからご好評をいただいておりますが、同じ花の形で新しい花色の品種を開発したいと考えました。「ベビーピンク」は花色に関して業界の方々の意見を聞き、これまでにありそうになかった非常に淡い色の開発にチャレンジした品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】トルコギキョウは各社よりすでに数多くの品種が育成されていますが、まだありそうでない、花の大きさ、形、色の品種を開発する余地が残っている花だと思っています。そのような独自性のある品種開発を今後も続けていきたいと思っております。

ブリーディング特別賞

リンドウ「西京の初夏」 山口県農林総合技術センター



受賞者：山口県農林総合技術センター（山口県）
ホームページ：
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17201/top/top/html>
育成者：山口県
審査講評：超極早生タイプのリンドウで、6月上旬から出荷が

可能。初夏の鮮明でさわやかなブルーの花色は、秋のリンドウのイメージとは違い、仏花以外の需要が見込まれる。

今後はさらなる花つきやボリュームの向上に期待したい。育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種としてブリーディング特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】「西京の初夏」は、山口県内のリンドウ生産者が独自に選抜したものを素材として山口県農林総合技術センターが2005年から選抜・固定を図り品種育成したものです。

開花期は5月下旬～7月上旬、花色は鮮やかな青紫色で、平地部でも育つ耐暑性が特徴です。

【開発の面白さ・今後の展開など】リンドウは採種から採花まで2年かかるため、品種育成には長い時間がかかります。山口県オリジナルリンドウは「西京シリーズ」として、開花時期や色合いが異なる4品種を育成しており、今後もバリエーションに富んだ品種を育成していきます。

ジャパndeザイン特別賞

サクラ「森生香（しんせいこう）」 石井 重久



受賞者 : 石井 重久 (静岡県)
育成者 : 石井 重久
審査講評 : 啓翁桜と十月桜を交雑して育成した「彩久作」のF2品種。生育旺盛でほうき状の巨木となる。花が大きく花付きもよい。日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されるジャパndeザイン特別賞を受賞。



ジャパndeザイン特別賞

サクラ「真理香（しんりこう）」 石井 重久



受賞者 : 石井 重久 (静岡県)
育成者 : 石井 重久
審査講評 : 密な花つきで小型の品種「山形おぼこ」のさらなる矮性品種。一輪一輪の花は小さいが、密集度が高く小枝でもボリュームがあるので、切り枝品種として優秀。ジャパndeザイン特別賞を受賞。



ニューバリュー特別賞

バラ「グランヴァーズ」 やぎばら園



受賞者 : やぎばら園 (静岡県)
育成者 : 八木 恒夫
ホームページ : yagibarabreedingfarm.com
審査講評 : やぎばら園オリジナルのバラ「ヴァーズ」シリーズの品種「シュエルバーズ」の枝替わり品種。シュエルバーズよりも赤みを持つ部分が多く、くすんだグレイッシュパープルのシックな色合いが目を惹く。同シリーズの中でも一番大きい輪で、外側に花弁がめくれ丸みある形を長く保つ。新しい価値観をもつ品種としてニューバリュー特別賞を受賞。人気投票で10位に入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】 ジュエルヴァーズの枝替わり品種。花色が魅力。
【開発の面白さ・今後の展開など】 1輪でも絵になるようなバラを作っていきたい。

ニューバリュー特別賞

バラ「ホワイトラロック」 やぎばら園



受賞者 : やぎばら園 (静岡県)
育成者 : 八木 恒夫
ホームページ : yagibarabreedingfarm.com
審査講評 : やぎばら園のオリジナルのバラ「ラロック」の枝替わり品種。白～グリーンの花色と、クシクシとしたウェビーで個性的な花弁の形がマッチし、ナチュラルな雰囲気を出している。ブルームタイプで出荷できるほど花弁が強く、個性的な花型を長い時間キープする。花色は徐々にグリーンが強く変化する。人気投票では7位に入賞。ニューバリュー特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】 ラロックの枝替わり品種。花型が特徴的。花色が白からグリーンに変化していく。

モーストジョイ特別賞

バラ「マッカラン&ロジーピンク」有限会社たなまち園芸場



受賞者 : 有限会社たなまち園芸場 (福岡県)
 育成者 : 棚町 満
 審査講評 : 人気のロゼット咲き大きめ中輪のスーパータイプバラ。全開に開いても散りにくく、このタイプの花型の中では長く楽しめる。多く重なった濃ピンクの花弁がゴージャスな印象だが、中輪ロゼット咲きのためかわいらしさも同時に持つ。人気投票では第9位に入賞。楽しい気分をもたらしてくれる品種に授与されるモーストジョイ特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】 「レッドワイン&ローズ」の枝替わりとして発現し、はじめは薄いピンク色の花でしたが、1~2年ほど試作するうちに、秋からは赤みのかかった落ち着いたローズピンク色にロゼットの形が影をおとしてくれて、高級感を出してくれました。名前は、お酒のマッカランの琥珀色のボトルに、照明の色が溶け込んだ、何とも言えないピンク色に魅力を感じ、「マッカラン&ロジーピンク」と名付けました。

【開発の面白さ・今後の展開など】 育種は、期待通りの品種がなかなか発現しないときもありますが、「必ず良い品種ができるだろう」と思って交配を続けています。期待して育種をすることで、自然と植物は変化してくれるようです。育種は長い年月がかかりますが、選抜したり、交配の方法を変えたり試行錯誤しながら、前向きに育種を行っています。今後も、仕事で関わる方、花屋さんや消費者の意見や考え方に触れ、満足して使っていただけるバラを作っていきます。

モーストジョイ特別賞

ダリア「NAMA HAGE エポック」秋田県



受賞者 : 秋田県
 育成者 : 鷲澤 幸治
 育成者権者 : 秋田県



審査講評 : 暖かみのあるピンク色、花弁数が多く端正な花型。キュートな色味に華やかな雰囲気があり、ブライダルはもちろんギフトや大型の装飾にもオールマイティな利用が期待できる。上向きの花、硬くしっかりとしたステムで扱いのしやすさも高評価。モーストジョイ特別賞を受賞。秋の人気投票第2位。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】 ・市場からブライダル、ギフト、フューネラルなど幅広いシーンにマッチする品種が求められていたことから、開発を目指した。

【開発の面白さ・今後の展開など】 ・よい品種同士を人工交配しても、優れた子孫を残すとは限らず、狙いどおりに行かないところが難しい。逆に、虫媒等の自然に任せ交配で優れた特性の子孫を残す場合があり、偶然性の面白さがある。

・NAMA HAGE ダリアのさらなる拡充を目指す。

ジャパndeザイン特別賞

ダリア「大曲の花火ダリア 花紫音」大仙市



受賞者：大仙市（秋田県）
ホームページ：<http://www.city.daisen.akita.jp/>
育成者：鷲澤 幸治
育成者権者：大仙市
審査講評：深い紫色の花弁には光沢があり、シックな

高級感を湛えたフォーマル
デコラ咲き品種。花径のサ
イズ感、茎の細さ、硬さも
申し分ない。

日本らしさをもち、日本
の美意識やデザイン性を感
じさせる品種としてジャパ
ndeザイン特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】 秋田県大仙市では、毎年8月最終土曜日に日本一の花火師を決める「全国花火競技大会 大曲の花火」が開催されます。当市ではダリアの栽培が盛んであることから、花火をイメージするダリアの新品種を開発し「大曲の花火ダリア」としてシリーズ化に向けて取り組んでいます。

【開発の面白さ・今後の展開など】 「大曲の花火」には昼花火の部があります。濃い紫が音と共に鮮やかに夕空を彩る紫色の昼花火をイメージさせ「大曲の花火協同組合」から「花紫音」と名付けられました。安定して2番花、3番花がでる生育のし易さが特徴です。地元生産者と共に安定生産に取り組めます。

ジャパndeザイン特別賞

ダリア「大曲の花火ダリア 紫ながれ」大仙市



受賞者：大仙市（秋田県）
ホームページ：<http://www.city.daisen.akita.jp/>
育成者：鷲澤 幸治
育成者権者：大仙市
審査講評：

淡い紫色に絞り模様の和の
雰囲気の特徴。蓮の花にも見
えるような、高貴な印象をも
つ。

ステムの太さが改善されれ
ばさらに使い易くなるだろう。
ジャパndeザイン特別賞を
受賞。秋の人気投票第5位。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】 秋田県大仙市では、毎年8月最終土曜日に日本一の花火師を決める「全国花火競技大会 大曲の花火」が開催されます。当市ではダリアの栽培が盛んであることから、花火をイメージするダリアの新品種を開発し「大曲の花火ダリア」としてシリーズ化に向けて取り組んでいます。

【開発の面白さ・今後の展開など】 絞り模様の筋が夜空にあがる花火の紫光の花火の流れをイメージさせ、「大曲の花火協同組合」により「紫ながれ」と名付けられました。高貴な色合いに加え、露心が遅く、育てやすいバランスのとれた品種です。地元生産者と共に安定生産に取り組めます。

切花部門 秋 審査会

ライフデザイン特別賞

ダリア「大曲の花火ダリア 和火」大仙市



受賞者 : 大仙市(秋田県)
 ホームページ : <http://www.city.daisen.akita.jp/>
 育成者 : 鷲澤 幸治
 育成者権者 : 大仙市
 審査講評 : 花火の炎が枝垂れていくようなフォーマル



デコラのスタイル。やや小ぶりでコロンとしたキュートな形は、気軽にホームユースしてほしい品種。花首が上向きにしっかりとすればさらに良い。

生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフで事案特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】 秋田県大仙市では、毎年8月最終土曜日に日本一の花火師を決める「全国花火競技大会大曲の花火」が開催されます。当市ではダリアの栽培が盛んであることから、花火をイメージするダリアの新品種を開発し「大曲の花火ダリア」としてシリーズ化に向けて取り組んでいます。

【開発の面白さ・今後の展開など】 大曲の花火ダリア第1期生です。落ち着いた赤橙色と花形が黒色火薬系で作られた昔ながらの花火である「和火」を連想させ、地元花火師によりその名が付けられた品種です。育てやすく露地栽培に適しており、地元生産者と共に安定生産に取り組めます。

ブリーディング特別賞

デルフィニウム「ラブホワイトグリーン」フラワーロード企画



受賞者 : フラワーロード企画(長野県)
 ホームページ :
<https://www.instagram.com/flowerroadproject/>
<https://www.facebook.com/flowerroadproject/>

育成者 : 横山 優
 育成者権者 : 横山 優

審査講評 : ジャイアント系デルフィニウムの「ラブシリーズ」の白色品種。インパクトある花の大きさは、大型の装飾を豪華に演出できる。

見ごたえのある花の美しさとともに、デルフィニウムに求められる花卉の散りにくさ、安定的に先端まで咲ききる力を育種の技術によって今後も追及して欲しい。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】 私たちは30年以上デルフィニウムを生産している中で、他の物と同じものを作らないというコンセプトのもと生産しています。国内のデルフィニウムの白=純白というイメージが強かったので、私達はその概念を捨て、遊び心から純白に淡いグリーン色を付け加え、尚且つ花びらの大きさを従来の物より大きくし作り上げ、癒しを追求した花がラブホワイトグリーンです。

【開発の面白さ・今後の展開など】 自分たちの考えた以上の様々な色、形が常に出来上がり新しい発見があります。この新しい発見を消費者の方たちに発信し、デルフィニウムの今までにない可能性を伝えたい。

グッドパフォーマンス特別賞

トルコギキョウ「ボヤージュ®（1型）ラベンダー-SM6-846」株式会社 サカタのタネ



受賞者：株式会社 サカタのタネ
(神奈川県)

育成者：森 一俊

育成者権者：株式会社 サカタのタネ

審査講評：人気のボヤージュ®シリーズのラベンダー色。青みのラベンダーは上品で高級感があり、市場性が高い。花径、フリルのバランスが抜群に良く、花弁の厚みも心強い。

生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞。秋の人気投票第5位。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】近年大輪フリンジ咲き品種は人気があり、また、花色として淡いラベンダーは大変需要の多い色となっています。しかし、これまでこれらを組み合わせた淡いラベンダーのフリンジ咲き品種は存在せず、そのような品種を開発すればよりトルコギキョウの消費の拡大につながると考えました。

【開発の面白さ・今後の展開など】育成した品種をたくさんの人に使っていただけるのが何よりの喜びであり、また、開発の面白さを感じられる点です。今後は生産者の方が1年中難なく淡いラベンダーフリンジ八重咲き品種を栽培していただけるよう、中生や晩生の開発に力を入れたいと思います。



品目名 : アジサイ
品種名 : ラグランジア ブライダルシャワー
受賞者 : 株式会社ハクサン（愛知県）
育成者 : 坂寄 潮

育成者権者 : J&H Japan

審査講評 : 全ての側芽から花が咲く画期的なアジサイ。一般的なアジサイとの差異が魅力的で、これまでにない新たな草姿を持ち、花き業界にインパクトを与える品種として評価された。

ピンチの位置や時期が自由に選べるため、ハンギングや誘引による仕立ても可能になり、アジサイの楽しみ方が広がるだろう。

葉が小さく、通常のアジサイよりも蒸散が抑えられるため、水管理もラク。

消費者にとって様々な魅力たっぷりの新品種と言える。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】全ての側芽が花になり6倍以上の花をつける、アジサイの常識を覆す画期的な品種です。剪定せずに枝を伸ばしてユキヤナギのような姿を楽しむこともできます。葉が小さくなり水の消費量も半分以下になっています。アジサイの新しいカテゴリーを創ったと評価され、チェルシーフラワーショーでゴールドを受賞しました。

【開発の面白さ、今後の展開など】

日本人育種家の坂寄潮氏による偶然の組み合わせからラグランジアは誕生しました。ブライダルシャワーはその第一弾。今後、全ての側芽に花が咲く性質は様々なアジサイに取り込まれます。ラグランジアの第二弾以降にもご期待ください。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞同時受賞]

ダイアンサス「ショコラノワール」 松原園芸



受賞者：松原園芸（群馬県）
ホームページ：
<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>
育成者：松原 紀嘉
審査講評：これまでになかった八重咲きの黒花ダイアンサス。シックなアンティークカラーがおしゃれな印象なことから、ベスト・フラワー（優秀賞）とライフデザイン特別賞を同時受賞。葉が柔らかく茎は細く繊細な印象で、切れ込んだ花弁と白い縁取りが黒花を際立たせている。シルバーリーフなら、一層モダンな美しさが映えるだろう。分枝性もよくまとまりやすいので、仕立て方やコーディネートが幅が広がりそう。



ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト特別賞同時受賞]

アジサイ「マルチフローラ てててまり」 吉岡 麗子



受賞者：吉岡 麗子（埼玉県）
育成者：吉岡 真美子
審査講評：側枝咲き性の多花性タイプ。小ぶりの手まり咲きながらボリュームが出せ、少ない挿し木数でも見栄えがする。ひとつの花房のなかに咲き進み具合の違う装飾花が混在し、花色の濃淡が出るうえに、咲き始めにグリーンが乗って花の表情に複雑さが添えられる点から、ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を同時受賞。茎は細いがしっかりとしているため、支柱不要で仕立てられる。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】アジサイの多くが花色花型重視で開発されている中、山アジサイの側枝咲き性と西洋アジサイの豪華さや樹勢、茎の強さを併せ持つ品種開発をコンセプトに、西洋アジサイ系の園芸種としては今までになかった側枝咲き性（マルチフローラ）で且つ花色も魅力ある品種が作出された

【開発の面白さ・今後の展開など】側枝咲き性の園芸種作出を目的としていた中、花が段階的に開花する性質により花色が大変魅力あるものが意図せず得られときは驚いた。一般的園芸種は主軸にのみ花が咲くためアジサイの鉢物は5〜10輪程度の開花だが、本品種では50輪くらい咲かせた商品を展開していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞同時受賞]

アジサイ「ふわり」久留米花卉園芸農業協同組合



受賞者 : 久留米花卉園芸農業協同組合 (福岡県)
ホームページ : <http://www.kurume-kaki.or.jp/>
育成者 : 坂本 和盛
審査講評 : サクラをイメージした花色は万人に好まれ、ギフト性が高い。咲き始めは白い装飾花が中心から徐々にサクラ色に染まり、ガク咲きから手まり咲きに変化する。直射日光に耐える花もちのよさは、ユーザーのみならず販売者にも管理しやすく、類似品との差別化が図りやすい。分枝が多くコンパクトにまとまり、強い茎は自立性に優れて株姿が非常によい。ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞 同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】花色が淡いピンクで、八重手まり咲の花序を持つ鑑賞期間の長い品種育成を目標に「城ヶ崎」由来の系統を交配して育成した品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】育種目標に合わせて選んだ系統（交配親）を用いて交配をし、得られた実生の中に育種目標どおりの個体があったときに、開発の面白さを感じます。今後の育種の目標は、花色が白覆輪および濃赤色の八重・手まり咲き品種の育成です。また、アジサイ生産団体「Hydrangers FUKUOKA」で共選共販体制をとっています。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー/

モニター特別賞（人気投票第1位 春）同時受賞]

バラ「江戸桜（仮称）」パティオローズ



受賞者 : パティオローズ (千葉県)
育成者 : 小川 宏
審査講評 : 側枝咲き性の多花性タイプ。小ぶりな手まり咲きながらボリュームが出せ、少ない挿し木数でも見栄えがする。ひとつの花房のなかに咲き進み具合の違う装飾花が混在し、花色の濃淡が出るうえに、咲き始めにグリーンが乗って花の表情に複雑さが添えられる点から、ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイティブ特別賞同時受賞。茎は細いがしっかりとしているため、支柱不要で仕立てられる。

鉢物部門 秋 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ/モニター特別賞 同時受賞]

ファレノプシス「天使の羽衣」 有限会社椎名洋ラン園



受賞者：有限会社椎名洋ラン園(千葉県)
 ホームページ：<http://www.ranran.co.jp>
 育成者：有限会社椎名洋ラン園
 審査講評：リップの部分が大きく広がって、花弁の一つのように見える。オリジナリティにあふれる「ビッグリップシリーズ」の新品種で、印象的な花形。花弁にうっすらと入るピンクの筋模様が、繊細かつ上品。まとまった花姿で、中輪サイズも万人に好まれるだろう。花もちがよく、3か月以上の開花実績があるとのことなので、パーソナルギフトにも喜ばれそう。ベスト・フラワー（優秀賞）と、楽しい気分をもたらしてくれる品種に授与されるモーストジョイ特別賞を同時に受賞した。人気投票第1位でモニター特別賞も同時受賞。



ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト特別賞 同時受賞]

シクラメン「胡蝶」 サントリーフラワーズ株式会社 / 有限会社大栄花園



受賞者：サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 有限会社大栄花園(千葉県)
 ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者：高橋 康弘
 審査講評：かわいらしい青色の丸弁に白い刷毛目模様が入る、従来にはない美しさがある複色品種で、ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を同時受賞したシクラメンの期待の一品。刷毛目模様の効果で軽やかさと立体感が際立ち、まるでたくさんの蝶が舞っているかのように、寒色系の花色ながらリッチでにぎやか。花姿と株とのバランスもよい。耐暑性もあり、組織培養で殖やされるため、均一性と生産効率のよさも魅力的。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 大栄花園で作出し、今世界でもスタンダードなタイプになっているパピヨンという品種のブルーバージョン。蝶が舞っているような独特の花形に爽やかな青と白の刷毛目模様が入る大栄花園らしい品種を作出しました。

【開発の面白さ・今後の展開など】 これからも見る人をあっと思わせる花色、花形のシクラメンを創り続けていきたいと思っています。

ジャパンデザイン特別賞

アジサイ「白寿紅」農業生産法人 株式会社みつる植物研究所



受賞者 : 農業生産法人(株)みつる植物研究所
(栃木県)

育成者 : 藤井 敏男

審査講評 : 土の酸度に関わらず、必ず純白から鮮赤色に移行する美しい初の手まり咲き品種。めでたい花色なので、和の祝いギフトにも利用してみたい。立性で樹高もほどよく、花房が大きく見映えし、庭植えでも必ず白から赤へ移行するため造園素材としてもおすすめ。花弁の厚みがあれば、さらに花持ちが向上するだろう。人気投票では第5位。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】

日本の酸性土の露地でも赤く咲くテマリ咲き品種の開発を目指した。新しい色素に着目して両親を発見し、土質に関わらず必ず純白から華やかな鮮赤色に変わる白寿紅を16年ぶりに育成した。庭植えで小輪多花、鉢作りでは大輪で咲く。

【開発の面白さ・今後の展開など】

原産国の育種家としてたった一人、楽しくも苦しい長い年月でしたが、今ではこの色が全てを慰めてくれます。名前も色も縁起が良く開運・長寿の花として庭植え、鉢作り、切花やドライフラワーなど末永く大切にしたい。

ニュースタイル特別賞

オンシジウム（オドンチオダ）「フローズストロベリー」株式会社向山蘭園



受賞者 : 株式会社 向山蘭園 (山梨県)

ホームページ : <http://www.mukoyama.jp>

育成者 : 向山 武彦

審査講評 : これまでにあまり見られない、白にピンク色の斑が入るフリルの花はラブリーで、サクラの花を彷彿させる。中心に入る黄色のアクセントが効いていて、甘すぎず、爽やかな印象を添える。強健で病害虫の心配もほとんどなく、無農薬栽培が可能。花立ちがよいので、花茎が伸長する時期には、多めの灌水量を心がけるとよい。



グッドパフォーマンス特別賞

ペラルゴニウム「ミッドナイトパラソル」鈴木清次 / 株式会社 サカタのタネ



受賞者 : 鈴木清次 / 株式会社サカタのタネ
(神奈川県)

ホームページ : <http://www.sakataseed.co.jp/>

育成者 : 鈴木 清次

審査講評 : みごとな極小輪多花性で、分枝性に優れ、ボリューム感があって華やか。初めて花を買う人にもすすめやすい。適度は空隙があるため軽やかに見え、従来品目よりも特徴が際立つ。明るい花色ながらコントラストが効いた複色で、3~6月まで咲き続けて連続開花性にも富む。比較的灰色かび病に抵抗性がある。人気投票では第6位。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】

この品種の作出にあたっては、何年もの間、たくさん交配してきた個体の中から偶然に現れた品種です。多くの方々に見ていただき、その花の多さと目を引く花色を楽しんでいただきたいと思います。

【開発の面白さ・今後の展開など】

開発にあたっては、花色や性質をあらかじめ狙ったうえで作るのではなく、可能なかぎり多くの個体を交配しています。そして、そこから生まれてきたものを選んでいく、ということが面白さだと思います。

フレグランス特別賞

ペチュニア「ヴァンサンカン ブルーピコティ」松原園芸



受賞者 : 松原園芸 (群馬県)

ホームページ :

<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

育成者 : 松原 紀嘉

審査講評 : ブルーに白のピコティが入って涼しげ。これまでのペチュニアにはなかった甘い芳香が、本品種の最大の特徴。よく分枝し、草姿も自然にまとまる。独創的な花形は、遠目に見るとよく映えて端正な一方で、近くに寄って見るとくしゅッとナチュラルだが、花弁の厚みが欲しい。病害虫に強いうえ、夏の間も途切れなく咲き続ける。



ブリーディング特別賞

ザミオクulkas「レイヴン」株式会社ハクサン



受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）

ホームページ：www.hakusan1.co.jp

育成者：Woori Flower

審査講評：これまでにない黒葉のザミオクulkas。ツヤがある漆黒の葉はクールでスタイリッシュ。高い付加価値のある、次世代のインテリアプランツとして大いに期待できる。栽培管理は従来品種と同じだが、日照が豊富な方が葉色が濃く美しい。無機質な鉢と合わせるとアートフラワーに見えそうなので、コーディネートに工夫したい。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】本品種は育種の経緯で変異株から選抜されたものです。

同じザミオクulkasの中でも特に葉色が濃く黒い個体が選抜され、高く評価されています。また、新芽は緑ですが生育が進むにつれて黒色に変化していく、といったユニークな特徴も魅力です。

【開発の面白さ・今後の展開など】アメリカでは、2018年のフロリダTPIEでベストニュープランツ賞を受賞しました。またヨーロッパでも徐々に生産が開始されています。レイヴンはカラスを意味し、その唯一無二の雰囲気とクールさで、今後日本でも室内観葉植物に新たなムーヴメントをもたらすかもしれません。

ニュースタイル特別賞

キク「かがり弁白」愛知県農業総合試験場 東三河農業研究所



受賞者：愛知県農業総合試験場東三河農業研究所

ホームページ：<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>

育成者：長谷川徹始め22名

審査講評：従来のかがり弁品種より花弁先端の突起が大きく際立ち、オリジナリティにあふれるため、ニュースタイル特別賞受賞。細く繊細で、清楚な美しさがある。濃緑色の葉と白花のコントラストもよく、白花でも十分な存在感がある。生育が良く、開花の揃いもよい。今後、花弁に反り返りを入れるなど、育種素材としても期待したい。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】

新たな需要拡大を目指してキク新品種開発に取り組む中で、2006年外側の花弁先端に複数の大きな突起がある「かがり弁」となった系統を得ました。この系統の「かがり弁」の数の増加と花形及び花色の改良を目的にイオンビームを照射しました。そして誕生したのが「かがり弁白」です。

【開発の面白さ・今後の展開など】

一度見たら忘れられない、とても華やかでインパクトのある品種です。他に、赤紫色と黄色の「かがり弁」品種も開発しており、3品種共に品種登録出願公表中です。

ライフデザイン特別賞

シクラメン「ジックス レッド」株式会社ハクサン



受賞者：株式会社ハクサン(愛知県)

ホームページ：www.hakusan1.co.jp

育成者：Schoneveld Breeding

審査講評：萼が発達した個性的な花容が特徴のワーリーギグタイプ。澄んだ赤い花弁と白く整った萼とのコントラストが印象的で、ライフデザイン特別賞 同時受賞。同タイプとしては小葉で葉数が多く、株姿のバランスもよい。連続開花性に優れ、次々と花が咲くうえに花もちがよく、商品性が高い。クリスマスのギフト需要にも応えられそう。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】育種元のSchoneveld Breeding (オランダ)は1930年の設立以降、シクラメンを主として開発を行ってきました。定番のベラノに見られるよう開花揃いが良く、強いステムで中心に花が集まるF1品種を追求してきました。中でもジックスはF1でありながら傘のように咲くユニークな性質、連続開花性の高さ、花持ちの良さを兼ね備えた品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】長年かけて少しずつ改良を進めていくことは地道なことではなありますが、その中でこれまでになかった特徴に焦点を当てて開発しています。

今後も皆様に驚いていただけるようなシクラメンを次々と開発していきますので、ご期待ください。

フレグランス特別賞

バラ「におい桜」パティオローズ



受賞者：パティオローズ(千葉県)

育成者：小川 宏

審査講評：「におい桜」の名前の通り香りがよく、フレグランス特別賞 同時受賞。極小輪にも関わらずしっかりとバラの香りが広がる魅力的な品種。接ぎ木を生かした仕立ては小品盆栽の趣きがあり、和風な美しさを気軽に楽しめるだろう。剪定によって開花時期をコントロールできる。和風の仕立て以外での可能性の広がりにも期待したい。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】

四季咲きオールドローズを交配親として盆栽用ミニバラを開発していたが、その中ではっきりとした香りのアル個体が発見され、これを分離したものです。

【開発の面白さ・今後の展開など】

バラとして日本独自のジャンルがないため、ミニバラ、盆栽といった要素を含んだ品種開発に意義がある。



7/30撮影

品目名：バラ
 品種名：トゥルーブルーム
 レッドキャプテン
 受賞者：高松商事株式会社（千葉県）
 ホームページ：<http://www.tacoflower.jp/>
 育成者：ピン・リン
 育成者権者：アルトマンプランツ
 審査講評：多少端境期があるものの連続開花性に優れ、常に咲かせていたいと願うユーザーにとって満足度が高く、初心者向きのバラとしても推薦できる。また、ローメンテナンスの利点は、様々やりつくした上級者にこそ便利に使ってもらえるのではないかと評価もあった。
 よく分枝し、シュートも多く株がしっかりしている。葉色も濃く、花弁も厚い。耐病性に期待できるが、防虫には手を抜かないほうがよりよい。品質保証付きで出荷されていることも高評価。



5/24撮影



9/10撮影



ただし、コンテナ植えは、花首が下がるような咲き方となりがち。ガーデンのほうが株が倒れずしっかり立つようになりやすく、魅力が伝わりやすい。



▲2018/10/5
（定植後2日）



▲2018/11/05
（定植後32日）



▲2019/3/15
（定植後162日）



▲2019/4/15
（定植後193日）



▲2019/5/24
（定植232日）



▲2019/6/25
（定植後264日）



▲2019/7/22
（定植後291日）



▲2019/8/6
（定植後306日）



▲2019/8/19
（定植後319日）



▲2019/9/6
（定植後337日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】コンパクトで病気になりにくいバラを目指してアメリカで2012年からスタートしたプログラム。その中でも世界的有名なバラの育種家、ピンさんと高松商事の共同開発のレッドキャプテン。日本でも病気になりにくく管理が楽なバラとして販売。

【開発の面白さ・今後の展開など】バラの弱点でもある病気になりやすい点を改善する事により一度バラの管理に失敗した方やバラをやってみたくて管理が難しいと思っている方に対してバラの楽しさを今後も伝えていきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔ライフデザイン特別賞 同時受賞〕

マーガレット「ボンザ®マーガレット リーフ咲きピンクレモネード」

サントリーフラワーズ株式会社



5/24撮影

出品者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>

育成者：Andrew Bernuetz

育成者権者：Bonza Botanicals Pty Limited

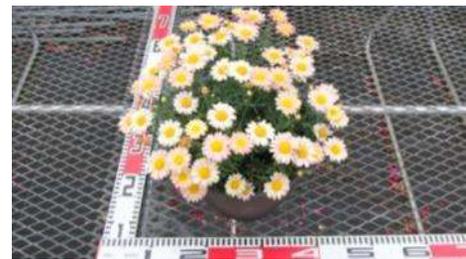
審査講評：イエローの花が咲き進むに連れ、サーモンピンク色に染まる色変わり咲き。色の混ざりが美しく、見ばえがし、消費者が扱いやすい特徴も持ち併せることからライフデザイン特別賞同時受賞。ピンチなしでこんもりとまとまる本シリーズの特徴を引き継ぎ、古い花の上に新しい花が咲くナチュラルな段差によって花がらが目立たないだけでなく、全体の雰囲気にも深みが出ている。下葉が枯れ上がらないところも好感が持てる。また、鉢物として取り扱われるのが一般的な本品目だが、本品種についてはガーデンでのパフォーマンスで魅力を発揮するため、ガーデン素材としても積極的に勧められる。



▲2019/3/15（定植後3日）



▲2019/4/16（定植後35日）



▲2019/5/21（定植後70日）



▲2019/3/15（定植後3日）



▲2019/4/15（定植後34日）



▲2019/5/20（定植後69日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】こんもりまとまる、ボンザマーガレットシリーズの新色として「リーフ咲きピンクレモネード」を開発しました。単色の他品種の開発途上で、一花の色が変わっていく様子が見られ、いろいろな色が一株で混じりあえば面白いのではと思い品種の開発に至りました。

【開発の面白さ・今後の展開など】マーガレットの花には多彩な色だけでなく形（八重、半八重、一重等）、花の表現が多彩です。お客様の「手元での育てやすさ」を重視しつつ、より魅力的で驚きのあるような花の開発をやっていきたいです。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

ブラキカム「星空マム® ホワイト」 サントリーフラワーズ株式会社



5/24撮影



5/14撮影

受賞者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>

育成者：Shaun Rebello

Andrew Bernuetz

育成者権者：Bonza Botanicals Pty Limited

審査講評：美しい純白花が、高密度に咲きあふれるため華やかさがある。早生で開花持続性が高く、次々に開花するため、グッドパフォーマンス特別賞同時受賞。

葉は細いが、しっかりとしている。株はバランスよく丸くコンパクトに収まり、特にガーデンでの株のまとまり方は秀逸。パフォーマンスもよく、単体よりもむしろほかの植物との混植で、一層魅力を発揮することに期待したい。しっかりとした花茎が適度な長さに伸びるので、従来品種よりも花がら摘みが容易だろう。本品目での手入れのしやすさは長所といえる。



▲2019/3/15 (定植後3日)



▲2019/4/16 (定植後35日)



▲2019/5/21 (定植後70日)



▲2019/3/15 (定植後3日)



▲2019/4/15 (定植後34日)



▲2019/5/20 (定植後69日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 こもりまとまりある草姿で、小花が満開に咲く商品を目指しました。様々の大きさのポットで、単植でも、ミックスでも、お気軽に星空マムのパフォーマンスを楽しんで頂けるかと思えます。

【開発の面白さ・今後の展開など】 ブラキカムは、小花でなかなかガーデニングの主役にはなりにくい植物です。そこをいかに品種改良で商品としての魅力を高めるか、そのためにどんな育種をするのか、そこを考えるのも面白さの1つです。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔ニューバリュー特別賞 同時受賞〕

キンギョソウ「リュミエール シフォン」 松原園芸



5/14撮影

受賞者：松原園芸(群馬県)

ホームページ：

<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

育成者：松原園芸

審査講評：ほかの花ともなじみやすい、淡めのアイボリーの花色が美しい。少しウェーブがかかった斑入り葉は表情があり、カラーリーフとしても十分利用できる。新たな育種の提案であり、新しい価値観を生み出す品種として、ニューバリュー特別賞同時受賞。花色、斑入り葉、まとまった草姿のバランスがとてもよく、寄せ植えやハンギングバスケットでの利用はもちろん、ガーデンでのパフォーマンスも特筆すべき存在感がある。覆うように花が咲くため、花がらが目立たないのも利点。耐暑性、耐寒性に優れ、従来本品目より強健。今後、新たな花色の展開に期待したい。



5/14撮影



5/14撮影



▲2019/4/5（定植後3日）



▲2019/4/16（定植後14日）



▲2019/5/21（定植後49日）



▲2019/4/5（定植後3日）



▲2019/4/16（定植後14日）



▲2019/5/20（定植後48日）

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー特別賞 同時受賞]

キンギョソウ「ルシエル ソワ」 松原園芸



5/14撮影

受賞者：松原園芸(群馬県)

ホームページ：

<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

育成者：松原園芸

審査講評：これまでになく淡いピンクのころころとした花が、すずなりに咲くかわいらしい品種。利用の幅を広げてくれそうなシルバーリーフとともに、魅力を誘うことからニューバリュー特別賞同時受賞。丸くこんもりと茂り、揃いもよく適宜に株幅も出るため、特にガーデンでのパフォーマンスが素晴らしい。新しいグランドカバープランツとしての提案もできる。存在感のあるバランスのよい草姿を考えると、似た傾向のネメシアやディアスキアより扱いやすいだろう。耐暑性、耐寒性に優れ、丈夫で育てやすい。花色のせい、か、'リュミエールシフォン'に比べると、花がらがいくらか目立つ。



5/14撮影



5/14撮影



▲2019/4/5（定植後3日）



▲2019/4/16（定植後14日）



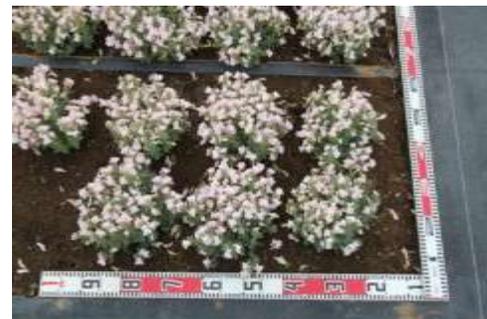
▲2019/5/21（定植後49日）



▲2019/4/5（定植後3日）



▲2019/4/16（定植後14日）



▲2019/5/20（定植後48日）

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

ペチュニア「バカラiQ ストロベリー」株式会社 サカタのタネ



5/24撮影

受賞者：株式会社 サカタのタネ（神奈川県）
 ホームページ：<http://www.sakataseed.co.jp/>
 育成者：鳥居 昭宏
 審査講評：連続開花性と耐環境性に優れ、

株がよくまとまり、種子系としてこの上ないパフォーマンスは栄養系と比べても遜色がない。市場での流通時期が3月からと早目で、今回の栽培観察でも3月上旬に定植し、5月の中下旬には美しく咲きそろった。

雨後の回復性に優れているという点も確認したが、悪天候下で多少株が倒れたり割れたりしても株元が枯れ上がることがなく、株元から新芽が数多く出てくるおかげで、ピンチ後の回復も早い。信頼できる品種。

インパクトがある花色で、花がらが目立たないのも好印象である。ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。



5/24撮影



5/24撮影



▲2019/3/15（定植後3日）



▲2019/4/1（定植後20日）



▲2019/4/16（定植後35日）



▲2019/5/21（定植後70日）



▲2019/3/15（定植後3日）



▲2019/5/20（定植後69日）



▲2019/7/8（定植後118日）



▲2019/7/26（定植後136日）

*6/24切り戻し

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 「バカラiQ」シリーズは、種子系ペチュニアの定番品種である当社の「バカラ」シリーズを、栽培のしやすさや耐暑性、耐雨性といったあらゆる性質で、より高いパフォーマンスを発揮することを目標に開発された種子系の新シリーズです。

【開発の面白さ・今後の展開など】 春夏を彩る輝かしい色彩を持つペチュニアの魅力、雨の多い日本の環境に適応させ引き出していくことが、苦勞であると同時にやりがいと面白さを感じます。たくさんの方に長い間ご愛顧いただけるようなペチュニアの開発を、今後も行ってまいります。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

カリブラコア 「ミリオンベル イエロー」 サントリーフラワーズ株式会社



7/30撮影

受賞者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>

育成者：金谷 健至、村上 保之

審査講評：生育旺盛で名高い「ミリオンベルシリーズ」のなかでも、本品種は特筆すべきパフォーマンスを見せ、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。

花色は元気が出る鮮黄色。定植してから花壇としてみられるようになるスピードも申し分ない。

連続開花性に優れ、ピンチ無しでもよくまとまって草姿が乱れず、花つきのバランスが劣らないのも、本シリーズのなかではトップクラス。適度な動きもあるので、花壇だけでなくコンテナガーデン、ハンギングバスケットにも勧めたい。



▲2019/4/16（定植後7日）



▲2019/6/10（定植後62日）



▲2019/6/24（定植後76日）
*6/24切り戻し



▲2019/7/23（定植後105日）



▲2019/4/15（定植後6日）



▲2019/5/27（定植後48日）



▲2019/6/25（定植後77日）
*6/24切り戻し



▲2019/7/26（定植後108日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 お客様のもとで、より育てやすく、をコンセプトにリニューアルさせていただきました。従来の品種よりも、こんもりとまとまりやすくなっています。

【開発の面白さ・今後の展開など】 ミリオンベルは開発途中で、非常にバラエティに富んだたくさんの色鮮やかな候補が出てきます。どれも商品として推したくなる気持ちも持ちつつ、厳しい暑さでのパフォーマンス、冬場の生産性の試験を数年間繰り返し、本当に良い品種だけを選抜しています。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

カリブラコア 「ミリオンベル チェリーピンク」 サントリーフラワーズ株式会社



6/18撮影

受賞者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>

育成者：金谷 健至

審査講評：「ミリオンベルシリーズ」の特性を受け継ぎ、生育旺盛で素晴らしいパフォーマンスで、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。

シリーズのなかでも大輪で、見ごたえがある。花色は眩しいほどの発色で、花がらが目立たず、ホームユース以外に公共の植栽にも向く。やや立性のためボリュームがあり、ピンチ無しでもよくまとまっている。同じシリーズの「ミリオンベル イエロー」との違いをユーザーにご案内できると、用途の差別化に役立つだろう。



7/30撮影



▲2019/4/16（定植後7日）



▲2019/6/10（定植後62日）



▲2019/7/12（定植後94日）

*6/24切り戻し



▲2019/7/23（定植後105日）



▲2019/4/15（定植後6日）



▲2019/5/27（定植後48日）



▲2019/7/8（定植後90日）

*6/24切り戻し



▲2019/7/26（定植後108日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 お客様のもとで、より育てやすいをコンセプトにリニューアルさせていただきました。従来の品種よりも、こんもりとまとまりやすくなっています。ガーデニングの主要カラーの1つとして、是非、取り入れていただければと思います。

【開発の面白さ・今後の展開など】 ミリオンベルは温気、高温に強く、ガーデニング初心者の方に特にお勧めできる商品です。ミリオンベルらしい生育旺盛さ、花数の多さをセールスポイントに今後もより魅力的な商品の開発に挑戦します。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

バーベナ「虹色あられ ピンクバイカラー」松原園芸



7/30撮影

受賞者：松原園芸(群馬県)

ホームページ：

<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

育成者：松原園芸

審査講評：ポップな花色、大輪タイプの存在感がとてもよい。人気のバイカラーのなかでも花つきがよいように見える。よくまとまった草姿のバランスのよさは、他社の類似品種と比べてもトップクラスで、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。

立性の草姿は、花壇だけでなく、コンテナガーデン、ハンギングバスケットにも使いやすいそう。株元の傷みも少なく、安心して使える品種。



7/30撮影



7/30撮影



▲2019/4/19（定植後2日）



▲2019/5/21（定植後42日）



▲2019/6/10（定植後62日）



▲2019/7/12（定植後94日）



▲2019/4/19（定植後2日）



▲2019/6/25（定植後79日）



▲2019/7/8（定植後92日）



▲2019/7/26（定植後110日）

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

トレニア「スーパートレニア カタリーナ ピンクリバー」株式会社ハクサン



7/30撮影



7/30撮影



受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）
ホームページ：www.hakusan1.co.jp
育成者：鈴木美国
審査講評：多花性で、咲き始めと咲き終わりの花色のグラデーションが魅力的。耐暑性、連続開花性に優れ、耐暑性に劣る従来の印象が覆った。1株で十分なボリュームが出るので、グラウンドカバーにすると雑草を抑えられるだろう。用途の提案ができれば利用の幅の拡がり期待できる。

「ピンクリバー」の名前ではあるが、夏の直射日光下ではやや青みのピンクに見える。鮮やかなピンク色とは違うが、主張の強くない軽やかなピンク色は、他の花との組み合わせもしやすい。

ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。



▲2019/6/10（定植後13日）



▲2019/6/24（定植後27日）



▲2019/8/5（定植後69日）



▲2019/9/3（定植後98日）



▲2019/5/28（定植後0日）



▲2019/6/25（定植後28日）



▲2019/7/8（定植後41日）



▲2019/8/6（定植後70日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】トレニアは直射日光下でも半日陰でも花をつけながら育つ貴重な植物ですが、うどんこ病や立ち枯れが発生しやすいことが課題でした。ピンクリバーはそれらを克服したベストセラー、ブルーリバーから枝変わりて生まれた品種のため、安心して栽培いただけます。

【開発の面白さ・今後の展開など】トレニアの新たな可能性を引き出すため種間交雑を進めています。ブルーリバーが販売から10年以上経過しても多くのご支持をいただいておりますが、これからも初めて花を育てる人にも感動と驚きを感じていただける品種を開発してまいります。

ベスト・フラワー（優秀賞）

グッドパフォーマンス/ライフデザイン/カラークリエイト特別賞 同時受賞

アルテルナンテラ「リトルロマンス」株式会社 ハクサン

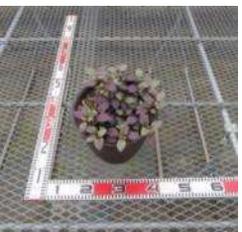


10/29撮影

受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）
 ホームページ：www.hakusan1.co.jp
 育成者：Ozbreed
 育成者権者：J&H Japan
 審査講評：高温期はややグリーンに傾いて見えるものの、10月には深い紫色がもどってくる。色変わりもまた楽しみの一つ。日陰での発色もよい。生育旺盛だが、株元が蒸れて枯れ上がることもなくとても強健。また、花がつかないこと、ローメンテナンスでピンチなしでもボリューム感ある形にまとめ、花壇でのパフォーマンスは最高なことから、公共の修景プランツに向くだろう。リーフとして利用するなど、他用途にも期待できそう。
 ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス、ライフデザイン、カラークリエイト特別賞の4賞を同時受賞。



10/29撮影
(露地 1株植え)



▲2019/6/11
(定植後14日)

▲2019/7/12
(定植後45日)

▲2019/8/5
(定植後69日)

▲2019/9/3
(定植後98日)

▲2019/10/16
(定植後141日)



▲2019/5/28 (定植後0日)

▲2019/6/25 (定植後28日)

▲2019/7/26 (定植後59日)

▲2019/8/19 (定植後83日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 生育旺盛にもかかわらず蜜に広がり、地植え、コンテナどちらにも向くカラーリーフとして開発しました。春に大きく生育し、夏はグリーンがかった色から秋には濃い紫色へ葉色の变化も楽しめます。日向、日陰でも安定的に育つよう改良しています。

【開発の面白さ・今後の展開など】 ちょうどハロウィンの時期に印象的な紫の葉を楽しめます。カラーリーフをこれまで以上に幅広い環境で、もっと手軽に楽しんでいただくため、アルテルナンテラだけにとどまらず幅広いリーフの開発を行っていきます。

カラークリエイト特別賞

ダイアンサス「ミーテ® さくらピンク」 サントリーフラワーズ株式会社



5/14撮影

受賞者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>

育成者：Lena Gutbrodt

育成者権者：Nils Klemm

審査講評：一輪の花もちが抜群によく、その間、花色の変化も楽しめる。ソフトピンクからホワイトに変化しながら咲き進む、やさしいグラデーションカラーが魅力的でカラークリエイト特別賞同時受賞。まとまりすぎず伸びる草姿がブーケのようで印象的。株全体はしっかりとしていて弱さは感じられないが、雨避け下での栽培の方がパフォーマンスが優れるため、コンテナなどに植え、軒下などでの栽培が向くだろう。こじんまりとしているのでガーデンでは植え場所の選択を工夫したい。コンテナ植えにして、間近で楽しむのもよいだろう。



5/24撮影



▲2019/3/15 (定植後3日)



▲2019/4/1 (定植後20日)



▲2019/4/16 (定植後35日)



▲2019/5/21 (定植後70日)



▲2019/3/15 (定植後3日)



▲2019/4/15 (定植後34日)



▲2019/5/20 (定植後69日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 かわいいサイズの花がたくさん咲き、しかも花色の変化も楽しめる花をお届けしたいということで商品化を行いました。耐暑性だけでなく、耐寒性も強くマイナス10℃でも大丈夫な品種ですので、寒い地方の方でも安心して育てて頂けます。

【開発の面白さ・今後の展開など】 今後はいろんな花色、花サイズのものを商品化し、より充実したシリーズに育てていきたいと思っております。20年の春からはピーチラテ、グレープソルベという注目品種も新たにラインナップに加わります。

グッドパフォーマンス特別賞

ペチュニア 「バカラiQ オーシャン」 株式会社 サカタのタネ



5/24撮影

受賞者：株式会社 サカタのタネ（神奈川県）
 ホームページ：<http://www.sakataseed.co.jp/>
 育成者：鳥居 昭宏
 審査講評：同バカラiQシリーズの「ストロベリー」と同じく、連続開花性と耐環境性に優れ、株がよくまとまり、種子系としてはこの上ないパフォーマンス。栄養系と比べても遜色がない。「ストロベリー」に比べ、やや横に広がる草姿で、動きを感じられて良いとする評価もあった。

市場での流通時期が3月からと早目で、今回の栽培観察でも3月上旬に定植し、5月の中旬には美しく咲きそろった。

雨後の回復も「ストロベリー」よりはほんの少し劣るという評価だったが、悪天候下でも枯れ上がることがなく、株元から新芽が数多く出てくることは同様に評価でき、信頼できる品種。

夏に誰にでも好まれるブルー系でこれだけの丈夫さは貴重。花がらも目立たない。



5/24撮影



5/24撮影



▲2019/3/15（定植後3日）



▲2019/4/1（定植後20日）



▲2019/4/16（定植後35日）



▲2019/5/21（定植後70日）



▲2019/3/15（定植後3日）



▲2019/5/20（定植後69日）



▲2019/7/8（定植後118日）

*6/24切り戻し



▲2019/7/26（定植後136日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】「バカラiQ」シリーズは、種子系ペチュニアの定番品種である当社の「バカラ」シリーズを、栽培のしやすさや耐暑性、耐雨性といったあらゆる性質で、より高いパフォーマンスを発揮することを目標に開発された種子系の新シリーズです。

【開発の面白さ・今後の展開など】春夏を彩る輝かしい色彩を持つペチュニアの魅力を、雨の多い日本の環境に適応させ引き出していくことが、苦勞であると同時にやりがいと面白さを感じます。たくさんの方に長い間ご愛顧いただけるようなペチュニアの開発を、今後も行ってまいります。

カラークリエイト特別賞

カリブラコア 「ミリオンベル オレンジ」 サントリーフラワーズ株式会社



6/18撮影

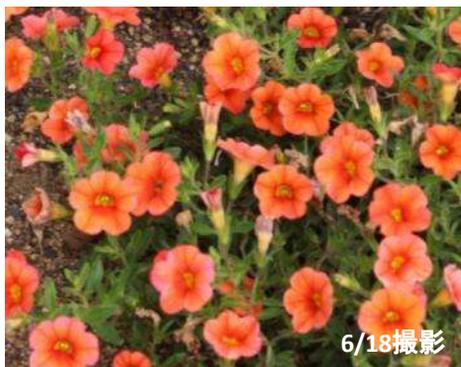
受賞者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>

育成者：金谷 健至、山田 将弘

審査講評：生育旺盛で名高い「ミリオンベルシリーズ」のなかでも、本品種
のオレンジ色の濁りの無い鮮やかな色は高い評価を受けた。夏の暑い時期に色褪せしないビタミンカラーのオレンジ色は好印象。ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を同時受賞。

連続開花性に優れ、コンパクトながら花上がりがよく、花の密度が高い。まとまりの良い株はハンギングバスケットにも使いやすく、お薦めできる。



6/18撮影



▲2019/4/16（定植後7日）



▲2019/6/10（定植後62日）



▲2019/7/12（定植後94日）



▲2019/7/23（定植後105日）



▲2019/4/15（定植後6日）



▲2019/5/27（定植後48日）



▲2019/6/25（定植後77日）



▲2019/7/26（定植後108日）

*6/24切り戻し

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】お客様のもとで、より育てやすく、をコンセプトにリニューアルさせていただきました。従来の品種よりも、こんもりとまとまりやすくなっています。ペチュニアにはない鮮やかなオレンジ色を、春から夏まで楽しんで頂けます。

【開発の面白さ・今後の展開など】ミリオンベルは他の花と比べて、色幅が多彩で、交配した種子を播くと、予想もしなかったような花色が出てきて驚くことがあります。花の魅力をお客様に伝え続けられるように、引き続き、感動と驚きのあるような開発に取り組めます。

グッドパフォーマンス特別賞

カリブラコア 「ミリオンベル ピンク」 サントリーフラワーズ株式会社



受賞者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLLOWER>

育成者：金谷 健至

審査講評：生育旺盛で名高い「ミリオンベルシリーズ」の中でも匍匐タイプの中小輪。生育旺盛で、連続開花性もあり、グッドパフォーマンス特別賞を受賞。

色の新規性があるとは言えないが、シリーズ内の色バリエーションとして、ユーザーが自分の好みで色を選んでも失敗が少ないと言う良さがある。

ピンチ無しでもよくまとまって草姿が乱れず、コンテナガーデン、ハンギングバスケットにも勧めたい。グッドパフォーマンス特別賞受賞。



▲2019/4/16 (定植後7日)

▲2019/6/10 (定植後62日)

▲2019/7/12 (定植後94日)

▲2019/7/23 (定植後105日)

*6/24切り戻し



▲2019/4/15 (定植後6日)

▲2019/5/27 (定植後48日)

▲2019/7/8 (定植後90日)

▲2019/7/26 (定植後108日)

*6/24切り戻し

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 お客様のもとで、より育てやすく、をコンセプトにリニューアルさせていただきました。従来の品種よりも、こんもりとまとまりやすくなっています。やや光沢のある花色が魅力です。

【開発の面白さ・今後の展開など】 ミリオンベルは湿気、高温に強く、ガーデニング初心者の方に特にお勧めできる商品です。春～夏にかけて高温になっていくことが予想されますので、暑さに負けず、花が長続きする品種開発を目指します。

モーストジョイ特別賞

ペチュニア「ヴァンサンカン さくらヴェール」 松原園芸



5/14撮影

受賞者：松原園芸(群馬県)

ホームページ：

<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

育成者：松原園芸

審査講評：立体的な美しい花形の八重咲き品種で、日本人好みのやさしいピンク色。花形が崩れず、葉色も美しい。

露地花壇においては梅雨時期の耐環境性という点で少し弱さを見せ、株の伸びに対して花のつき方がややさみしかった。雨よけ施設内のほうが生育が良好で、ピンチ後の株の復活は早い。

スタートダッシュはよく、5~6月はぐんぐん育ち7月頃までは楽しめる。

花壇より手元近くに置いて楽しむタイプとして紹介し販売するとよいだろう。

モーストジョイ特別賞受賞。



9/10撮影



9/10撮影



▲2019/4/19 (定植後2日)



▲2019/5/21 (定植後42日)



▲2019/6/10 (定植後62日)



▲2019/6/24 (定植後76日)



▲2019/4/19 (定植後2日)



▲2019/5/28 (定植後51日)



▲2019/6/17 (定植後71日)



▲2019/6/28 (定植後82日)

カラークリエイト特別賞

カリブラコア「クイーンエリーゼ#977」 株式会社ゲブラナガトヨ



6/18撮影

受賞者：株式会社ゲブラナガトヨ（茨城県）

ホームページ：<http://www.poinsettia.co.jp/>

育成者：荒井 芳夫

審査講評：バイカラーでセミダブルの個性的な花。淡い黄色から淡いピンク色への色の変化も面白い。他の植物との色合わせを楽しめそう。

マット状に広がる草姿。どちらかと言うと容器栽培に向いている。デリケートな色の変化は、花壇で遠景から楽しむというより、軒下での栽培や小さいスペースでの植栽にも向いていると言える。コンパクトな株でも花上がりは良い。

カラークリエイト特別賞を受賞。



7/12撮影



6/18撮影



▲2019/5/28（定植後0日）

▲2019/6/11（定植後14日）

▲2019/6/24（定植後27日）

▲2019/7/12（定植後45日）



▲2019/5/28（定植後0日）

▲2019/6/11（定植後14日）

▲2019/6/25（定植後28日）

▲2019/7/（定植後82日）

グッドパフォーマンス特別賞

アメリカフヨウ「タイタンビカス イカロス」 株式会社赤塚植物園

7/30撮影



受賞者：株式会社赤塚植物園（三重県）

ホームページ：<http://www.jp-akatsuka.co.jp>

育成者：倉林 雪夫

審査講評：鮮赤色の花色が人目をひく。午後まで開花が続く上、草丈が1mほどのショートタイプで、従来のタイタンビカスシリーズの中での差別化が図れる。

分枝位置が低いため、大きな花が下部につき、花が子供にも良く見える位置に咲くのが長所。良く分枝するが、大きくなりすぎないので、一般の家庭用としておすすめ。

シリーズ内に多くの品種が揃ってきたが、ショートタイプのストロングポイントが分かりやすく、大きすぎないというパフォーマンスがよく出ている。



▲2019/6/11（定植後49日）



▲2019/7/9（定植後77日）



▲2019/7/23（定植後91日）



▲2019/6/11（定植後49日）



▲2019/7/8（定植後76日）



▲2019/7/22（定植後90日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 色彩のきれいな花で、草丈の伸びすぎないものを育成するために、純白のエルフを母親にして、小型の品種を交配した。得られた実生苗の中に、きれいな赤花で分枝も多く、1mほどの草丈に収まるものがあり、その個体を選抜した。

【開発の面白さ・今後の展開など】 タイタンビカスの雄大さを損なわず、扱いやすいサイズとして1mほどのショートタイプを開発してゆく予定。なおかつ、鮮やかな色彩ときれいな花型にこだわって行きたい。

グッドパフォーマンス特別賞

ユーフォルビア「グラマー」 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：Ball Seed

審査講評： 苞までの茎の長さがあり、のびやかな印象のあるユーフォルビア。透明感を感じる白さ、柔らかな雰囲気があり、単体でも他の植物との組み合わせでもよく、用途が広い。

連続開花性があり、草姿の乱れもあまりなく、強健。台風の大風の後もダメージがあまり見られなかった。1株で植栽した時の丸くバランス良い草姿も、群植して遠景から見た「霞」のような姿のどちらにも魅力がある。

扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞。



▲2019/5/28 (定植後0日)



▲2019/6/24 (定植後27日)



▲2019/7/23 (定植後56日)



▲2019/9/2 (定植後100日)



▲2019/5/28 (定植後0日)



▲2019/6/25 (定植後28日)



▲2019/8/6 (定植後70日)



▲2019/9/3 (定植後101日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 パンアメリカン・シード社は、栄養繁殖系品種が台頭する品目を実生化することに重きをおいている。より手軽に栽培できる実生系ユーフォルビアの開発に着手した。グラマーインブはすでに同育成元より販売中の矮性品種グリッツに比べ、節間が長く草丈がより高い。種子品質をより向上させ、インブとして再販売を開始した。

【開発の面白さ・今後の展開など】 グリッツが矮性品種として単品としてコンパクトに楽しめることに対し、グラマーインブは高い草丈を生かして他品目と調和がし易く、特に寄せ植え素材として有効に利用できる。耐暑性に優れ乾燥にも強い上、雨天でも傷みにくく寄せ植え素材から造園利用に最適。

グッドパフォーマンス特別賞

ポーチュラカ 「マジカルミステリー」

株式会社ゲブラナगतヨ



7/30撮影

受賞者：株式会社ゲブラナगतヨ（茨城県）

ホームページ：<http://www.poinsettia.co.jp/>

育成者：荒井 芳夫

審査講評：株張りがよく大輪で見ごたえのあるポーチュラカ。鮮やかな色彩は夏の花壇で目を惹く。

定植後1月程は、株は伸びるがあまり花がつかず、スロースターターのような印象があったが、梅雨明けから盛夏にかけてぐんぐんと育ち、分枝の良さからボリュームを増した。1株で植えると株の中心部の花が抜けてしまったが、群植すれば目立たず、迫力も増す。株元の枯れ上がりもなく、強健。

耐環境性、連続開花性がありメンテナンスもほぼ不要で夏の花壇で活躍しそう。グッドパフォーマンス特別賞を受賞。



7/30撮影



7/30撮影



▲2019/5/28（定植後0日）



▲2019/7/12（定植後45日）



▲2019/7/23（定植後56日）



▲2019/9/3（定植後98日）



▲2019/5/28（定植後0日）



▲2019/6/17（定植後20日）



▲2019/7/8（定植後41日）



▲2019/7/26（定植後59日）

グッドパフォーマンス特別賞

ポーチュラカ 「マジカルハート」 株式会社ゲブラナガトヨ



7/30撮影

受賞者：株式会社ゲブラナガトヨ（茨城県）

ホームページ：<http://www.poinsettia.co.jp/>

育成者：荒井 芳夫

審査講評：株張りがよく大輪で見ごたえのあるポーチュラカ。「マジカルハート」の名前はハート型に見える花型から。「マジカルミステリー」同様、濁りの無いクリアな黄色は、夏の花壇で目を惹く。

定植後1か月程は、株は伸びるがあまり花がつかず、ゆっくりと育つ。梅雨明けから盛夏にかけてぐんぐんと育った。「マジカルミステリー」より分枝がやや少なく、どちらかというときが伸びる印象。1株で植えると株の中心部の花が抜けてしまったが、群植すれば目立たず、迫力も増す。株元の枯れ上がりもなく、強健。開花時間も長い。

耐環境性、連続開花性がありメンテナンスもほぼ不要で夏の花壇で活躍しそう。グッドパフォーマンス特別賞を受賞。



7/30撮影



7/30撮影



▲2019/5/28（定植後0日）



▲2019/7/12（定植後45日）



▲2019/7/23（定植後56日）



▲2019/9/3（定植後98日）



▲2019/5/28（定植後0日）



▲2019/7/8（定植後41日）



▲2019/7/26（定植後59日）



▲2019/9/2（定植後97日）

モーストジョイ/ニュースマイル/ニューバリュー特別賞 同時受賞

ヘリアンサス 「サンビリーバブル ブラウンアイガール」 株式会社ハルディン



7/30撮影 露地花壇



7/26撮影



受賞者：株式会社ハルディン（千葉県）
ホームページ：<http://www.jsjardin.co.jp>
育成者：T&M
審査講評：

「1000輪も咲く」というユーザーへのアピール力、新規性、実際のパフォーマンス、育て易さ、どれも素晴らしく商品性が高い。

分枝が多く、連続開花性に優れ、落ち着いた色目で、組み合わせを工夫すれば夏以降、秋の花壇でも十分楽しめる。花弁が落ちた後の花がらが目立ちにくく、セルフクリーニング性の高さもうれしい。また花がらそのものの姿もかわいらしく印象的。

少し厳しい環境で抑制気味に栽培し、切り戻しのタイミングを工夫すれば、4か月ほどよい状態で楽しめるだろう。

モーストジョイ、ニュースマイル、ニューバリュー特別賞の3賞を同時受賞。



▲2019/5/21（定植後34日）



▲2019/6/11（定植後55日）



▲2019/6/25（定植後69日）



▲2019/7/12（定植後86日）



▲2019/8/23（定植後126日）



▲2019/9/24（定植後158日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】コンパクトで夏の間ずっと咲き続けるヒマワリを追い求め、数え切れないほどの育種、試作を経て開発されました。種がつかないので、暑い夏でも休まず連続開花します。一番花から最終花まで1シーズンに1,000輪も咲きます。

【開発の面白さ・今後の展開など】初夏から晩秋（霜が降りる頃）まで咲き続ける、開花数の多さがポイントです。コンパクトなのでコンテナにも花壇にも植えることができ、たくさんのお花を長期間楽しめるので、世界中の人に楽しんでほしいと思っています。

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデニングの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しませ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。



ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRIにご活用ください。



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。